

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2022年度 パフォーマンス向上会議情報(2022年6月8日(水)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2022年6月8日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【既設多核種除去設備 空気圧縮機(B)の現場盤内バッテリーの不良について】 当直員が既設多核種除去設備の空気圧縮機(A)から(B)への切替に伴い、空気圧縮機(B)の現場盤内の電源を投入したところ、複数の警報が発生することを確認。 現場確認の結果、現場盤内のバッテリーの不良によるものと判明。 バッテリーを交換し、空気圧縮機(B)の正常起動を確認済み。</p>	GⅢ	5月30日
2	<p>【FタンクエリアN5タンクの水位低下について】 当社社員がN2タンクの水の散水後、同エリアにあるN5タンクの水位が10mm程度低下していることを確認。 散水開始前にN5タンク出口弁が「閉」であること、ならびに水位低下がないことを確認しているが、N2タンクとN5タンクの出口配管が合流していることを踏まえ、N5タンク水位が低下した原因を調査中。 なお、その後N5タンクの水について分析し、セシウム134、セシウム137、全ベータ、トリチウムのいずれも検出限界値未満であり、散水基準を満足していることを確認。 今後、再発防止対策を検討。</p>	GⅢ	6月5日